

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ア	安全・安心に暮らせる地域づくり			
施策	①地域安全対策の推進				
(施策の小項目)	○社会情勢の変化へ対応する警察活動の推進				
主な取組	国際テロ対策事業	実施計画 記載頁	126		
対応する 主な課題	○沖縄県は海域を含めると広大な行政区域を持っている上、人口や入域観光客数の増加、米軍基地から派生する諸問題等の特殊事情を抱えている。また、警察官1人あたりの110番件数が全国で最も多い。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容	テロの発生を未然に防止するため、テロのターゲットとなる国際空港・港湾などライフラインのインフラ施設に対する警戒警備等に取り組む。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	国際テロの 防止			→	0件		県
	インフラ施設の警戒警備等					→	
担当部課	警察本部警備部外事課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成26年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
一般活動費	93	93	公共交通機関、重要施設などインフラ施設の警戒警備等のテロ対策	県単等
活動指標名			計画値	実績値
国際テロの防止			0件	0件
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成26年度取組の効果			
順調	テロの標的となりうる各インフラ施設等の警戒・警備等のテロ対策を実施した結果、 ・ 県内における国際テロ及び前兆事案の発生がなく、具体的な関連情報等もない ・ 関係施設等の管理者との連絡体制、良好な関係を構築している等の理由から、順調に推移していると捉えている。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成27年度計画				
事業名	当初予算	活動内容		主な財源
一般活動費	93	公共交通機関、重要施設などインフラ施設の警戒警備等のテロ対策		県単等

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

昨年度は、テロの未然防止環境作りを図るべく、各種イベント等(祭り会場、スポーツイベント)や地元FMラジオを活用した広報を行ったほか、事業者に対する不審者対応訓練及びテロの標的となりうる重要施設等と連携した対応訓練を実施し、県民に対するテロ対策への理解と協力を求めた。
今後も、前記重要施設等に加え、公共交通機関や一般人が多数集まる商業施設やイベント関係者等と連携した訓練等を実施していく。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
—	—	—	—	—	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—

状況説明

国際テロ対策を継続推進することにより、今後も国際テロの発生の抑止につながると見込まれる。

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

- ・警察による国際テロ対策に関する県民の理解と協力(官民一体となった対策が必要)の確保が必要である。
- ・国際テロ対策においては、テロの標的となる場所やテロに利用されるおそれのある施設への対策等が必要であり、テロの未然防止に万全を期すためには、警察の力だけでは不十分であり、同関連施設等の管理者や利用者に対する理解と協力が不可欠である。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・継続して、国際テロ対策に関する県民への適切な広報活動を行うことと理解と協力を確保し、各種訓練等を継続的に実施していくことが重要である。

4 取組の改善案(Action)

- ・重要施設や一般業者に対する教養の機会を設けるとともに、継続した訓練の実施を図っていく。
- ・多数の人が集まる各種イベント等(那覇マラソン、那覇ハーリー、大型商業施設、FMラジオの活用等)における国際テロ対策の広報活動及び国際テロの発生等を想定した官民一体となった訓練等を実施する。